

平成31年度第4回狛江市教育委員会の自己点検及び評価に関する
審査委員会会議録

- 1 日 時 令和2年2月27日（木） 午後6時～6時53分
- 2 場 所 狛江市防災センター3階 会議室
- 3 出席者 委員長 押尾 賢一（学識経験者）
副委員長 渡辺 秀貴（学識経験者）
委員 惣川 ひさえ（市民委員）
委員 氏家 嘉代（市民委員）
事務局 宗像 秀樹（学校教育課長）
高橋 治（学校教育課教育庶務係長）
石渡 和香子（学校教育課教育庶務係）
三角 紳太郎（学校教育課教育庶務係）
- 4 欠席者 なし
- 5 傍聴者 なし
- 6 議 事 1. 議題
平成31年度狛江市教育委員会の自己点検及び評価に関する審査委員会
答申について

2. その他
- 7 会議概要
- 委員長 これより、平成31年度第4回教育委員会自己点検及び評価に関する審査委員会を開催する。次第に従い会議を進める。事務局から本日の資料の確認をお願いする。
- (事務局より本日の資料説明)
- 委員長 次第1「平成31年度狛江市教育委員会の自己点検及び評価に関する審査委

員会答申について」について、議論する。事務局より説明をお願いします。

事務局 ★資料1に基づき説明

委員長 それでは、本件について、質問・意見等を伺う。
まず「はじめに」と「1.再評価①7-1」の部分について、ご意見を伺う。

惣川委員 公民館には課題は多いが、あきらめずに取組みを進めてもらいたい。

委員長 今回の答申を次の事業展開に活かし、できることから取り入れてもらえれば本委員会の再評価も意義あるものとなる。

氏家委員 記載の内容については、異論はない。P1「評価対象事業については、妥当といえる」部分については、評価内容を記載してある方がわかりやすい。

惣川委員 次年度以降もあまり変わらない気がする。

委員長 答申は教育委員会に提出し、残っていくもの。次年度以降、評価を確認する中で今回の再評価・指摘事項が活かされていけば、私たちの答申は意義あるものとなる。ぜひ来年度以降の事業に活かしていただきたい。

氏家委員 P2, 11行目「努力が大切であるとする」の誤植では。

事務局 修正します。

副委員長 難しい問題だが、社会全体が高齢化する中で、公民館を高齢者のニーズを取り入れる「地域のコミュニティーの場」として活かしていくという視点はあまり予算をかけずにできることだと思う。高齢化が悪いことではない。人生100年時代を向かえるにあたり生涯の学びの場として、再生するチャンスといえる。

委員長 つづいて「1.再評価①7-2・12-1」の部分について、ご意見を伺う。

氏家委員 課題ばかりが大きく目立っている。改善につなげられるような書き方にした方がよい。

副委員長 課題の解決に向けては、「今後の方向性」の部分に各委員の意見が集約されている。ぜひ参考に改善に取り組んでもらいたい。

委員長 第五小学校で始めた取組みを活かし、学校によって形は変わる可能性はあるが、コーディネータが学校に入ることによって、先生方の仕事量が増えることなく、学校と地域の連携が進んでいくことが望ましい。一つ一つ着実に取組みを進めてもらいたい。ボランティアでは継続的な取組みは難しい。予算を確保し、結果を出してってもらいたい。

人材確保に難しい部分があるが、公民館の活動団体の代表者など、担える人材はある。ガク☆チキ等で募集するなど、様々な方法で募集してみるのもよい。また自薦だけでなく、他薦も含め、様々な情報を得られるような仕組みを作れるとよい。

惣川委員 応募する人にわかりやすい大きな柱を示せるとよい。

副委員長 定年延長等もあり難しい部分もあるが、学校教育経験者に声をかけられるような仕組みができるとよい。狛江市での勤務経験者だけでなく、他自治体での経験のある在住者も含め、地域で学校をサポートする仕組みができるとよい。

委員長 そのためには幅広い周知が必要。QRコードの活用など、周知の仕方も広げていく必要がある。

惣川委員 個別の声かけだけでは限界がある。多岐に渡って広く周知できるとよい。

委員長 色々な形で入ってもらい、結果が出てくれば、周りも「それならできそうだ」という気持ちになり、増えていくことにつながる。ある程度時間もかかる取組み。できることから先生方の手助けとなるような取組みができるとよい。

氏家委員 個人の技量に頼るのではなく、誰でもできることとして広げられればよいと思う。

委員長 単にコーディネータを募集するのではなく、例えば「図書ボランティアを集める仕事」など、コーディネータの職務内容をある程度わかるようにして募集をすれば、できると思う人が出てきやすいのではないかと。

副委員長 中教審から「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について」という答申が出されている。その中で「基本的には学校以外が担うべき業務」、「学校業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務」、「教師の業務だが、負担軽減が可能な業務」が例示されている。例えばそれを根拠に、学校以外が担うべき業務や必ずしも教師が担う必要がない業務を中心に、地域と連携して学校を支援するチームを組織する」といった施策とし、予算付けをしていかないと実現は難しい。このようにすれば、何をするのかも明確になる。

委員長 それではいただいた意見を事務局と私の方で修正するというで一任いただくことでよろしいか。

【了承】

委員長 それでは私と事務局で修正させていただき、答申として教育長に提出する。本日最後の会議となる。皆様方からご感想・ご意見等いただきたい。

★各委員からご意見・ご感想をいただく。

委員長 答申に記載された項目の1つでも2つでも何らかの形で活かされれば、各委員に再評価いただいた内容が生きてくる。担当課は大変だと思うが、ぜひがんばって欲しい。

次に、「(2) その他」として、事務局から何かあるか。

事務局 ★学校教育課長よりお礼
★事務局より議事録確認のお願い

委員長 質問等あるか。なければこれで平成31年度の狛江市教育委員会の自己点検及び評価に関する審査委員会を終了する。